

びょうぶ

空間を彩る屏風

ワイドスクリーン

— 広がる大画面 —

「屏風」は間仕切りや風よけとして用いられてきた調度です。折り畳むことができるため移動や収納に便利であり、また、折り方によって区切る形や広さも自在であるため実用性の高いものとして愛用されました。

そして、屏風の多くには絵が描かれました。絵の内容により、置かれた空間に意味を持たせたり、場を美しく装飾するなど、空間演出に用いられるようになります。

屏風絵は、バラエティに富む画題やさまざまな様式で多くの絵師によって手掛けられてきました。ジグザグに置いて使う横長の画面は絵師にとって挑戦であったに違いありません。

この展覧会では空間を彩ってきた屏風を紹介します。現代の生活ではあまり目にする事のなくなった屏風ですが、私たちが部屋の模様替えをして楽しむように、また、私たちが今いる場所から別の世界へと導いてくれる魅力的な絵画として鑑賞していただければ幸いです。



柳橋水車図屏風 江戸前期 個人蔵

— 展覧会概要 —

* 会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はホームページをご覧ください。

展覧会名称	びょうぶ	ワイドスクリーン
会期	空間を彩る屏風 — 広がる大画面 — 2024年2月20日(火)～4月14日(日) [前期] 2月20日(火)～3月17日(日) [後期] 3月19日(火)～4月14日(日)	
開館時間	午前10時～午後5時	
休館日	毎週月曜日	
入館料	一般 1,400円 学生 1,100円	
主催	細見美術館 京都新聞	
会場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 http://www.emuseum.or.jp	
本展連絡先	細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代) 広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp	



《事前予約不要》混雑時は入場をお待ちいただく場合があります。

—主な出品作品—



柳橋水車図屏風 江戸前期 個人蔵



「伊年」印 四季草花図屏風 江戸前期 細見美術館蔵 【前期展示】



祇園祭礼図屏風 江戸前期 細見美術館蔵 【後期展示】



鈴木蠣潭 山水図屏風 江戸後期 個人蔵【後期展示】



住吉如慶 きりぎりす絵巻(下巻・部分) 江戸前期 細見美術館蔵 【巻替えあり】

—会期中のイベント—

古香庵サロン Active+

「源氏も♡伊勢も！物語絵を紐解く」

『源氏物語』『伊勢物語』をはじめ、平安時代以来長く紡がれてきた「物語」の数々。早くから絵画や工芸など美術作品の主題ともなり、「物語」と日本美術は深い関わりをもって豊かな文化を築き上げました。

本講座では「物語絵」や「物語意匠」を多くの作例、特に細見コレクションの名品を通して様々な角度から読み解きます。「物語」は絵画化されるプロセスでどのように描かれ、変容してきたのか—平安のサロンさながら、ご参加の方々と語り合いながら「物語絵」の魅力に迫りましょう。

講師：岡野智子(当館上席研究員)

時間：①午後1時～ ②午後3時30分～ (各回 約90分)

会場：茶室 古香庵(当館3階)

定員：各回15名(最少催行人数：10名)

参加費：4,500円

〈友の会〉フレンドシップメンバー3,200円/サポートメンバー・フェローシップメンバー 無料

《展示観覧・呈茶付き》



講師：岡野智子(当館上席研究員)

第1回「物語絵を楽しむ ー入門編ー」

人間模様を描く「物語」は、絵画化するプロセスでどのように「美化」かつ「洗練」されてきたのか—。

開催日：2024年4月5日(金)



お申込みフォーム↑



展覧会資料(画像)・取材をご希望の方は、ホームページリリースページもしくは左記QRコード「資料・ご取材申込フォーム」からお申込みください。